

【写真】9月7日に第32回ウォーキングマラソン大会が開催され、コースを一新した今回は、15km
コースに86名、30kmコースに29名の計115名の皆さまにご参加いただきました。

令和元年（2019年）9月20日発行
編集・発行 岩見沢市教育委員会
〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地
であえーる岩見沢4階

第 **45** 号

教育広報

いわみざわ市の教育

— 特集 —

「心の教育」

推進月間を実施します

- ・～あなたの新しいスタートラインになる～岩見沢緑陵高等学校
- ・思いやりプロジェクト
- ・新しいALTを紹介します！
- ・みんな知ってる？岩見沢市指定文化財②
- ・教育長室から



岩見沢市教育委員会 Facebook

市内の教育に関する行事の情報、市教委
ホームページの更新情報などを発信してい
ますので、ぜひ「いいね！」してください。
<http://www.facebook.com/edu.iwamizawa>





～あなたの新しいスタートラインになる～

岩見沢緑陵高等学校

いつも全力だから、
緑陵生は輝いています！

生徒の夢を実現するために専門性の高い教育と学びやすい環境を整えています



学ぶ

○幅広い学びのニーズにこたえる多様な学科・コースを設置

○生徒の個性を尊重し、能力を伸ばしていく学習指導

○進路実現に向けた全力サポート

普通科 普通コース

各学年で理解度や、進路別にクラス編成をし、高い意識を持って学力向上を目指します。

基本科目のほかに選択科目も充実しているので得意分野、興味のある分野を選んで、さらに知識を伸ばすことも可能！数学の習熟度別指導、各教科の進学講習などきめ細かく理解度を深める授業を実践しています。

【H30 年度進路実績】

進路先	人数
国公立大学	10
私立大学	37
短大・専門学校等	52
公務員	6
民間就職	7

普通科 スポーツ総合コース

体育の授業時数を増やし、部活動と連動した授業で競技力・体力を強化。普通科としての授業に加え、トレーニング方法やスポーツ指導の在り方、応急処置などスポーツ全般にわたる授業により専門知識を深めます。

普通科の中にある専門コースのため、スポーツ分野に関わらず、さまざまな進路を目指すことができます。

【H30 年度進路実績】

進路先	人数
国公立大学	1
私立大学	8
短大・専門学校等	10
公務員	2
民間就職	6

情報コミュニケーション科

情報活用能力やプレゼンテーションによるコミュニケーション能力など、ビジネス活動で必要とされるスキルを学びます。卒業までに、多くの資格を取得することができます。

専門資格は卒業後の進路に役立ちます。地域貢献をテーマに、岩見沢のPRや特産品開発などに取り組む課題研究授業もあります。

【H30 年度進路実績】

進路先	人数
国公立大学	1
私立大学	9
短大・専門学校等	29
公務員	5
民間就職	22

挑む・楽しむ



部活動で活躍したい！

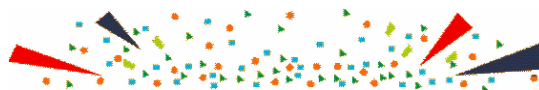
ビジネススキルを
身に付けたい！



明るく楽しい
校風に憧れる！



進む道を
しっかり
見つけたい！



全て実現できる緑陵高校！
あなたも緑陵高校の仲間になろう！



子どもたちの安全を見守る

学校・家庭・地域が連動して
子どもたちの安全確保へ！

思いやりプロジェクト

～ 10 秒の愛情で子どもたちを見守る環境づくりへ～

近年、子どもたちが犠牲になる事件や事故が続いています。

岩見沢市内では、日頃から町内会や保護者の皆様のご協力により、通学時の児童・生徒の見守りを実施しています。

今後、岩見沢市教育委員会としては、より多くの方々に参加してもらい、子どもたちの見守りを更に強化していきたいと考えています。

地域の皆さまのちょっとした意識・行動で、子どもたちの安全を見守る環境づくりを目指した継続的なプロジェクトです！

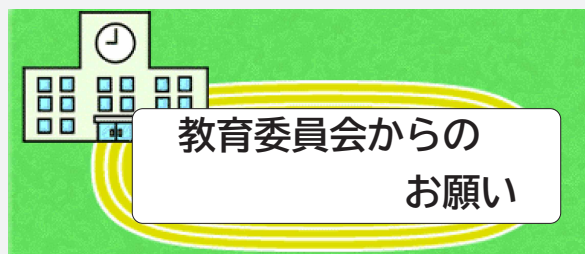
どんなことをしたらいいの？

普段の生活の中で、ほんの 10 秒だけでも構いません。子どもたちの様子を気にかけて見守ってください。



例 えば、いつ見守ればいいの？

通勤のとき、ペットのお散歩のとき、庭のお手入れのとき、雪かきのときなど、ふと気づいたときに、子どもたちの登下校を見守っていただけませんか。



登校時の安全を守るためには、子どもたちが登校する時間帯に合わせた、見守りが欠かせません。

家庭の都合などにより、先生方の出勤よりも早く学校に到着しているお子さんもおりますが、その間は見守りが十分ではありません。

保護者の皆さん、学校で指定されている時間にお子さんが登校できるよう、安全安心な環境づくりを目指して、ご協力をお願いします。

【お問合せ先】教育委員会学校教育課総務係
電話 0126 - 35 - 5121



新しいALTを紹介します

岩見沢市は、各小中学校と緑陵高校に9名の外国語指導助手（ALT）を配置しています。ALTは、学校で外国語活動及び英語の授業における補助を行うほか、教育委員会主催の「土曜キッズ英会話」や「英検学習会」で講師を担当したり、岩見沢市の姉妹都市であるアメリカ・ポカテロ市との交流など、さまざまな活動に参加しています。

8月に新加入の3名を紹介します！

Question

- ①日本に興味を持ったきっかけ
- ②岩見沢の印象
- ③趣味
- ④地元地域の紹介

①日本人のオペラの先生がきっかけでした。音楽を通じて、日本の言葉や文化をたくさん教えてくれたんです。

②とても平和な場所だと思います！みなさんととても優しく接してくれます。

③歌うことが大好きです！オペラを10年間習っていて、6年間学校のコーラス隊に所属していました。



Name : Alonzo Isabelle Anne

名 前 : アロンゾ・イザベル・アン

出身地 : アメリカ合衆国

配属校 : メープル小・光陵中

④私はイリノイ州のシカゴ出身で、ユニークな最新のレストランや、音楽、お祭りなど、いろいろな楽しい文化があります。

自分が育った街が大好きで、街のことならいくらでも話せますよ！

①小さい頃、ゲームキャラクターが大好きで、中学生の時にマンガを読み始め、高校生になってから、日本のアイドルグループの存在を知って、日本語の勉強をしようと決めました。

②岩見沢は美しくて親切な町です。ここでの暮らしが大好きになりました。

③一番の趣味は、アイドルグループの「おっかけ」をすることです。



Name : Ward Emily Ruth

名 前 : ワード・エミリー・ルース

出身地 : アメリカ合衆国

配属校 : 東小・北真小・緑中

④私はオハイオ州のオックスフォード出身です。自然にあふれた街並みで、アメリカ美しい学生街と言われています。

実はオックスフォードの北側の歩道は、赤れんがで舗装されていて、岩見沢の街並みにそっくりなんです。

①Yシャツはちゃんと着るのに、すごく短いスカートを履いたり…アメリカでは、もうあまり流行ってないスポーツが人気だったり…不思議なことだらけの国なので、すぐに興味を持ちました。

②建物も、人も、自然も、多すぎず少なすぎず、丁度いいです。僕が住んでいたニュージャージー州を思い出します。

③読書とゲームが好きです。お気に入りの本は、チャールズ・ディケンズの「大いなる遺産」シリーズなどです。ゲームでは、チェスや囲碁などの戦略を立てるゲームが好きです。



Name : Nelson Charles

名 前 : ネルソン・チャールズ

出身地 : アメリカ合衆国

配属校 : 日の出小・栗沢小・明成中

④僕の出身地である、ニュージャージー州のパターソンはもともと移民の街で、主にスペインやアラブ、トルコ出身の人々が暮らしています。

身の回りにはトルコ出身の人達がたくさん住んでいて、おかげで僕はトルコ語を覚えることができました。

みんな知ってる？

岩見沢市指定文化財シリーズ② ～大正6年建築『旧国兼家住宅』～

岩見沢市教育委員会では、文化遺産の保護を主な目的として、昭和42年に文化財保護委員会を設置して、様々な文化遺産の調査を行っています。現在7つの文化遺産が市の指定文化財に認定され、どの文化財も大変貴重で意義のあるものばかりです。

第2回目の今回は、昭和53年に文化財に指定された旧国兼家住宅をご紹介します。

～旧国兼家住宅の歩み～

築102年の風情ある古民家、「旧国兼家住宅」が現在も北本町に佇んでいます。旧国兼家住宅は、北海製材雑穀株式会社を創立した竹野繁次郎氏の自邸として建てられ、昭和14年に国兼氏へ譲渡されました。

木造平屋型で、最大の特徴はL字型の縁側と土縁とよばれる土足の縁側を持つことです。雪の多い日本海側の地域に見られる造りで、竹野氏が山形県鶴岡市出身だったことから故郷の建築様式を採用したもののと思われます。

上質な材料と優れた施工は、道内に現存する和風建築物の中でもトップクラスであることから、昭和53年12月に岩見沢市指定文化財として認定しました。



教育委員会では旧国兼家住宅の保存と活用を行っています。ご見学やお茶会等でご利用を希望される方は、文化・スポーツ振興係までお問い合わせください。



旧国兼家住宅正面写真

入場料等：無料

※ご利用についてはあらかじめご相談下さい。
教育委員会生涯学習・文化・スポーツ振興課
文化・スポーツ振興係 電話 0126-35-5129



岩見沢が好きになる 『ふるさと教育』の取り組み

教育長室から

教育長 三角 光二

「岩見沢はどんなマチ？何があるの？」「岩見沢のいいところは何？」と尋ねられたら、どう説明しますか。子どもたちに同様の質問をすると、「雪が多い」「自然がいっぱい」「お米や野菜をたくさん作っている」という答えが返ってきます。間違いではありませんが、この答えは他のマチにも当てはまるものです。岩見沢の子どもたちが、自分の住んでいるマチのことをあまりよく知らないでいることに気づかされます。しかしこれは、子どもたちに限ったことではなく、私たち大人にも言えることかもしれません。

グローバル社会と言われるように情報手段の発展により、世界との距離が縮まっている現代、子どもたちの将来は、日本という枠組みから離れて、世界的な視野を求められるようになるで

しょう。そんな将来、子どもたちが自分の故郷である岩見沢に愛着を持ち、それをアイデンティティとして自分の力を発揮し、どの子どもも夢や希望を持って自己実現に向かう姿が望まれます。

そこで、今年度から学校を中心に7月8月を『ふるさと教育』推進月間として、子どもたちが郷土岩見沢を知り、岩見沢のよさを実感するための取り組みを行っています。

図書館では地元で創作活動をする方を招いてのトーク、絵画ホールでは地元作家の絵画展、学校では「炭鉱港」をテーマにした学習、商店街巡りやマチナカ探検、岩見沢の文化や自然を取り扱った学習、市民憲章など岩見沢を題材にした地域学習に取り組みました。岩見沢で育った子どもたちが、岩見沢の「ヒト・モノ・コト」を、好きになり岩見沢を離れてもふるさとに愛着を持ち、いつかまた戻りたいという気持ちを抱いて大人になってほしいものです。